

## はじめに

教育実践研究は、情報科時代になり多くの基礎資料の保管伝承の研究が進もうとしています。しかし、カリキュラム、学習指導方法等に関わる基礎資料は、残念ながら過去の資料について広く利用されない状況にあります。

木田宏先生は、かつてオーラルヒストリーの中でこれらの課題を解決するためには、教育センター、大学が継続的なカリキュラム開発、体系的な教育実践研究資料を蓄積・流通させ、これらの情報の教育実践への適用の必要性について指摘されていました。また、木田宏『新教育と教科書制度』（昭和 24 年）では、国定から検定教科書への移行にあたって、教育資料の収集・管理と利用の必要性を指摘されていました。

現在は、デジタルアーカイブの発展により、資料の保管が進み、資料の教育実践研究を通して再検討し、広く利用を図り、より確かな学力をつける研究が必要です。

そこで、学習システム研究会、岐阜大学、その他多くの方々が 1967 年～1979 年にかけて学習指導法、学習指導計画などの教育実践基礎データを収集記録した資料や当時の状況などを沖縄の方々に紹介しました。これらのデータをもとに、沖縄の多くの方々の協力で教育実践研究を進め、その適用の可能性、方法について成果を得ることができました。

本誌には、岐阜で行われた 1967 年～1979 年の基礎資料の収集方法、実践、研究の状況について説明し、それをういた沖縄での 2013～2015 年の実践への適用の課題、関係者による疑問点等についての説明などを報告しました。また、沖縄県での長尾順子先生（沖縄県教育庁義務教育課学力向上推進室指導主事）を始め、多くの方々の協力で開発された活用推進用の資料についても紹介しました。

このように、教育実践の基礎研究が約 40 年後に 1000km も離れた教育環境も違った地域で教育実践に適用できたことは、教育研究資料の管理流通の重要性を改めて感じました。尚、この沖縄県での研究の一部は公益財団法人 博報児童教育振興会「第 9 回 児童教育実践についての研究助成事業」の助成（代表長尾順子）によるものであり、深くお礼申し上げます。

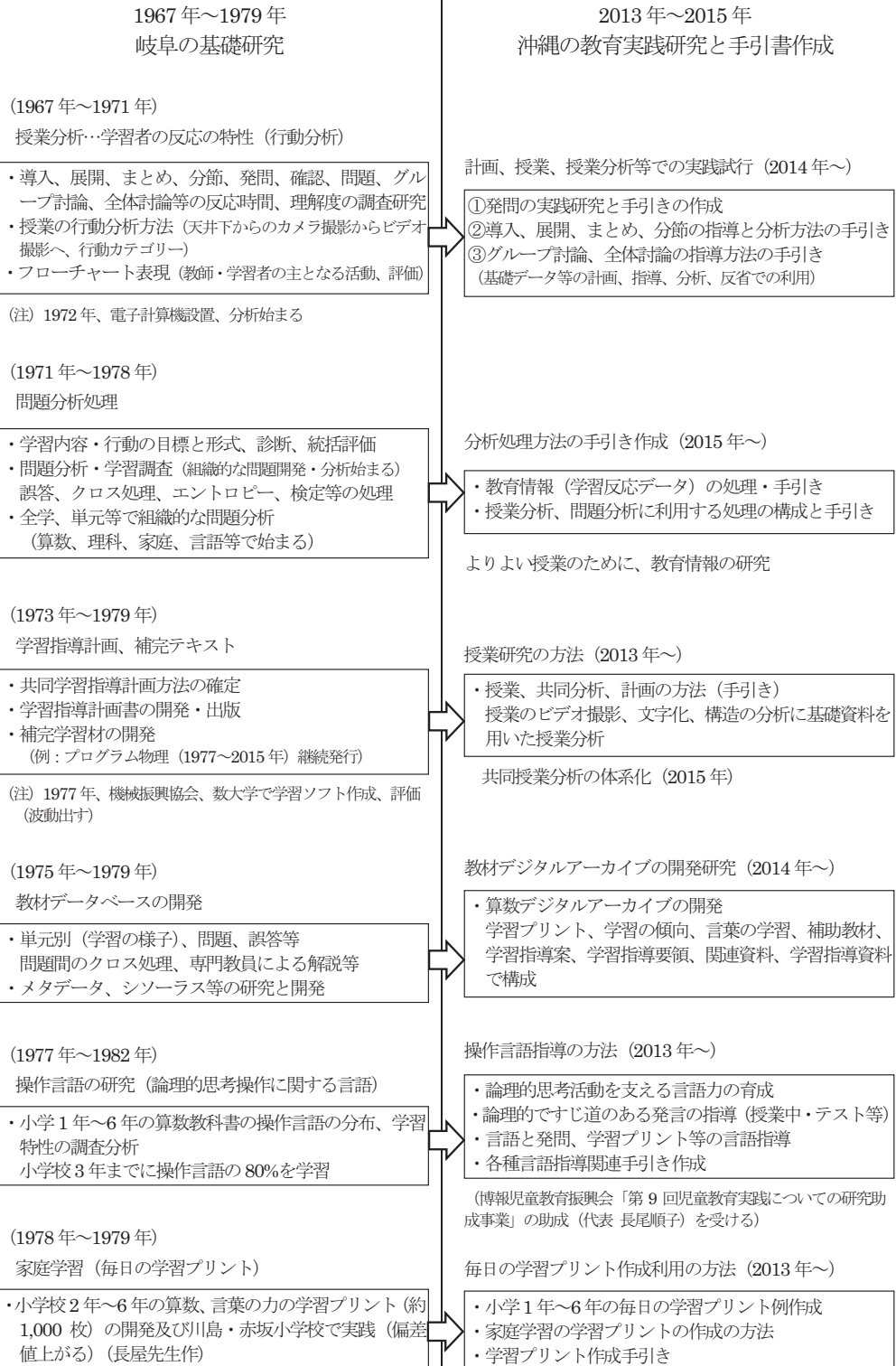
この教育実践研究の基礎を構成していただいた、成瀬正行先生、森幸雄先生、石黒彰二先生、廣瀬弘先生、織田正先生等の多くの研究者および、教育実践に協力いただいた数百名の岐阜県、愛知県等の先生方にお礼申し上げます。

本誌は、岐阜の教育実践研究資料の中から沖縄で利用・参考にした資料を中心に報告しました。

2015 年 7 月

岐阜女子大学 後藤 忠彦

## 岐阜の基礎研究資料と沖縄での教育実践活用



## 目次

### はじめに

#### 岐阜の基礎研究資料と沖縄での教育実践活用

<b>I 基礎研究の始まり</b> . . . . .	1
1. 多様な観点からの観察	
2. 研究の始まり	
3. 教育実践研究システムの構成へ (1967～)	
4. 初期の研究システムの構成～小・中・高等学校と大学の教員の共同研究を始める～	
5. 授業の展開と反応曲線の研究	
6. 個人反応データについて	
7. 新しい研究に多くの方々の支援 (1971 年迄)	
<b>II 学習の内容・授業計画と反応処理の整備</b> . . . . .	34
～電子計算機導入の準備～	
1. コンピュータの導入計画	
2. 学習指導のカテゴリー化	
3. 学習指導内容の検討と表示	
4. 電子計算機導入の準備	
<b>III 電子計算機の導入と処理</b> . . . . .	43
～新しい処理の時代へ～	
1. 電子計算機の導入と処理システム	
2. 問題の分析	
3. 授業の組織的 (総合的) な調査研究へのコンピュータの利用	
4. 調査研究結果のデータベース	
5. CMI システムの処理体系	
<b>IV 言葉の調査研究 . . . 言葉の力…操作言語の学習</b> . . . . .	63
1. 言葉の意味のコード化	
2. 操作言語の分布	
3. 操作言語の学習特性	
4. 言語の学習プロセスと指導方法	

**V カリキュラム開発（学習指導計画）・教材開発等と研究情報の適用・・・・・・・・73**

1. 毎日の学習プリントの作成と利用
2. 学習指導計画（設計書）の作成で利用

**VI 沖縄での活用例（資料）・・・・・・・・99**

- ・教育実践資料 No.1～No.6
- ・岐阜大学カリキュラム開発研究センター研究報告 Vol.1 No.1（1980）

**資料 授業の計画、実践、分析等の記入表例（参考）**

**論文・文献等リスト（岐阜・沖縄）**